



第16-45号

2016年10月20日

新型特急ロマンスカー「70000形」の製造を決定 2018年3月 営業運転開始予定

小田急電鉄株式会社（本社：東京都新宿区 社長：山木 利満）では、新型特急ロマンスカー「70000形」を、2018年3月の営業運転開始を目指し、製造することを決定いたしました。

この特急ロマンスカーは、「箱根につづく^{とき}時間を 優雅に走るロマンスカー」をコンセプトに、岡部憲明^{のりあき}アーキテクチャーネットワークが、特急ロマンスカー・VSE（50000形）、MSE（60000形）に続き、EXEα（30000形リニューアル車）とともに、デザイン設計をいたします。

ダイナミックな景色が堪能できる展望席を設置するほか、車両側面の窓には高さ1mの連続窓を採用することで流れ行く沿線の四季折々の風景を存分にお楽しみいただくことができるとともに、車両の左右の振動を抑制する装置を搭載するなど、居住性と乗り心地が向上します。

また、増加する訪日外国人旅行者へは、スーツケースなどの大型荷物が収納できるスペースやWi-Fiによるインターネットへの接続環境の整備に加え、バリアフリーに配慮したユニバーサルデザインを採用するなど、多様なお客さまのニーズに対応した設備を導入します。



外 観（イメージ）



先頭（1、7号車）車両断面（イメージ）



中間（2～6号車）車両内観（イメージ）

③ 多目的室

授乳時や体調が思わしくない方の休憩等、多目的に利用可能なスペースを設けます。

④ 異常挙動検知装置

車両の異常な動きを検出した場合に、自動的に緊急停止させることで被害の拡大を防止します。

⑤ 編成滑走制御

雨天時など車両が滑走した場合に、滑走を低減させながら、編成全体で可能な限り制動力を維持する制御を行ない、制動距離の短縮を図る機能を搭載します。

(3) 環境面の配慮

① 省エネルギー化

S i C素子を用いたV V V Fインバータ制御装置の搭載、L E D照明の採用など、省エネルギー化を図ります。

② 低騒音化

主電動機（モーター）は全密閉式とするほか、コンプレッサーや空調装置、駆動装置等は低騒音タイプの機器を搭載します。

8. 製造費用 約40億円（2編成合計）

9. 車両製造会社 日本車輛製造株式会社

10. デザイン設計

岡部憲明アーキテクチャーネットワーク（代表：岡部憲明氏）

<岡部憲明氏の参加プロジェクト例>

ポンピドゥーセンター（フランス・パリ）、関西国際空港旅客ターミナル（大阪府）、牛深ハイヤ大橋（熊本県）、特急ロマンスカー・V S E（50000形）、箱根登山電車（アレグラ号）、大山ケーブルカー など

以 上